「白山手取川ジオパーク 子どもジオ博士」の企画・運営

団体名●こどもフィールド演習（森永ゼミナール）
代表者名●森永秀典（人間科学部こども学科・准教授）

はじめに（背景・目的・目標）

白山市の職員の方のサポートのもと、金沢星稜大学こども学科森永ゼミナール3年生が企画・運営する「白山手取川ジオパーク　子どもジオ博士」は、白山から手取川、日本海へと至る“水の旅・石の旅”をテーマに、火山や化石、峡谷、扇状地など大地の成り立ちを楽しみながら学ぶ、小学生を対象とした活動である。2024年8月25日（日）に、8名の小学4年生～6年生と共に実施した。

活動内容

活動の準備として4月に大学内で打ち合わせを行い、各学生が白山手取川ジオパークについての理解を深めた。また本活動の行程を以下の流れで考えた。

・百万貫の岩　・白山砂防科学館　・恐竜パーク白峰
・手取川ダム　・手取峡谷　・綿ヶ滝　・七ケ用水

まず「道の駅　しらやまさん」に集合し、今回の活動の説明と、子どもたちの緊張をほぐす活動を行った。今回の活動では、子どもたちがミッションカードに示された課題のクリアを通して、白山手取川ジオパークの理解を深めることを目指した。

写真1　ミッションカード

百万貫の岩では、「百万貫の岩を持ち上げている写真を撮ろう！」というミッションを通して、百万貫の岩の大きさを感じた。白山砂防科学館では、動画視聴により、百万貫の岩が流れ着いた経緯についての理解を深めた。恐竜パーク白峰では、桑島化石壁で発見された化石をはじめ、恐竜など様々な化石の展示

写真2　百万貫の岩の説明を聞く子どもたちの様子

を観察した。さらに、施設の職員の方の協力のもと、化石発掘体験を行い、化石化した貝や植物、亀の甲羅等を発掘し、時間をかけて大地がつくられていることを知ることができた。後半は、手取川ダムや手取峡谷、綿ヶ滝の景色を見渡し、水の流れや水の力について考えた。七ケ用水では、水を使う人々の知恵や努力についても考えた。最後に、「子どもジオパーク博士」の認定式を行い、今回の活動を振り返った。

写真3　化石発掘体験をする子どもたちの様子

成果、結果の考察

以上の活動を通して、今回の活動のテーマである、白山手取川ジオパークの水の旅・石の旅の理解について、子どもたちと学生共に理解を深めることができた。また、白山市の職員の方の丁寧なサポートにより、円滑に活動を進めることができた。

今後の課題、展望

次年度も、今回の活動を精査しながら、より充実した活動にしていく予定である。